

令和3年度第3回育親中学校ブロック協議会 議事録要旨

■日時

令和4年3月18日(金)午後7:30～午後9:00

■会場

育親中学校 1階 視聴覚室

■議事

- 1 開会
- 2 育親中学校ブロックにおける学校のあり方について
- 3 閉会

■意見交換等発言内容

| | |
|----------------|---|
| 座長 (教育総務課長) | 次第の2「育親中学校ブロックにおける学校のあり方について」事務局から説明いただきたい。 <事務局説明> |
| 座長 | 事務局から「育親中学校ブロックにおける学校のあり方について」説明があった。何か質問・意見があればお願いしたい。 |
| 委員 | 計7回の説明会で参加者は何人いたのか。 |
| 事務局 | 新型コロナウイルス感染症の影響もあるかも知れないが、7回の説明会で95名だった。地域では回覧を行い、就学前の子ども及び児童生徒には保護者宛てに文書を出し周知した。 |
| 委員 | 地域の参加者が少なかったので自治会役員に検討案を私から説明したところ、総じて賛成の意見が多かった。一方で子どもや保護者の思いを優先しないといけないのも分かるが、学校がなくなるのは寂しいという意見もあった。 仮に義務教育学校をつくるなら利点を最大限生かすようにしてほしいし、時間も費用も必要だと思うが、今の児童が新たな環境で学習できるように早期に実施してほしい。 |
| 委員 | 義務教育学校をつくることは、保護者の中でも賛成意見が多いが、いつ実施されるのか不安な人もいる。時間も費用もかかるのは理解しているが、いつできるのかを |

| | |
|----|---|
| | 説明してもらえると不安が軽減されると思う。 |
| 委員 | 説明会に参加した全体の人数を聞いて少ないと思った。家庭の事情もあって周囲に聞いても参加していない人が多く、保護者の中では、できれば早くしてほしいという気持ちはあるが、自分たちの子どもは関係ないという思いもあるのかもしれないと感じた。 |
| 委員 | 早くしてほしいという意見が出ているので、ハード面の整備が今すぐできないから進められないではなく、地域と連携してできる部分や教育的にもソフト面でできる部分があるはずだ。ICT に関しても同様である。今から整備できる部分から実施していき、ハード面の整備が完了したときに上手くいくようにしてほしい。 住民が関心を持ち、地域が一緒になって新しい学校を創るように話を進めれば、ハード面ができたときに一気にうまくいくのではないか。 |
| 委員 | 総会ではできていないが話をするとほとんどの人が統合することに賛成だった。教育の中身を充実したものにし、ほかの地域の人が見ても魅力のある学校を作っていかないと人数が増えても意味がないという意見があった。小学校は人数が少ないのでできるだけ早くしてほしい。中学校と統合は反対という人もいた。 |
| 委員 | 詳細を詰めようとしてもいつ義務教育学校ができるのかが明確ではない。いつ実施するのかを示さないと中途半端な感じで計画が終わってしまう。いつ頃に学校ができるのか、その間にどのような動きが必要なのか、また場所もしっかりと示さないといけない。それが示されれば議論もしやすいと感じている。 個人的には、場所は新しい学校なら新しい土地というのが本当はいいが、時間も費用も必要になるので、どこか4つの学校のなかで改修などをしていけばいいのではないかと思う。個人的には育親中学校の場所がいいのではないか。3小学校の子どもたちが全員通う学校であり、反対も少ないのではないか。山の上という課題もあるが、どこか場所を絞って具体的な検討に入っていかないと時間だけが過ぎてしまう。タイムスケジュールを示せばより全員が関心を持って説明会に参加するのではないか。 |
| 委員 | タイムスケジュールの作成も重要だが、地域住民に対するひと押しが必要。来ないから悪いのではなく、このような事業をしているということを周知するのも必要だ。説明会をし、その時このような意見があったということを周知しないと不明瞭に感じるのではないだろうか。 |
| 委員 | 口頭でしか説明会をしてこなかったが、例えば案を住民に示したほうが真剣に検討してもらえるのではないか。出せる資料は出したほうがいい。 |
| 委員 | 今回の資料は公開されるのか。 |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | ブロック協議会で示した資料については公開する。 |
| 委員 | 公開されるともうこの案で決定したのかという意見が出るが、保護者としてはいつ何ができるのかを知りたいと思うので、示すこと自体はいいと思う。 1点質問だが、資料にある少人数校適応児童生徒の学びの保障というのはどんな意味か。 |
| 事務局 | これまでに少ない人数の中で学習したいという意見があった。少人数の中で学びたいというニーズに対応するために少人数校適応児童生徒の学びの保障という言葉を使用している。 |
| 委員 | 統合しても少人数というのを逆手にとった仕組みと考えればいいか。 |
| 事務局 | 大規模校でなじめず、20人くらいのクラスなら行けるかもしれないという子どもが学校に行きやすいような環境づくりも考えている。 |
| 委員 | 多くの考え方があると思うが、全体的には早く進めてほしいという意見が多いと感じるので、もっと具体的な案を出して早く進めるべきだ。 場所も3小学校のどこかではなく、新しい場所に新しい学校を建てるようにしてほしい。ほかの学校からも行きたいと思えるような学校にしてほしい。次の段階に進めるには保護者たちから不安もでると思うが、その不安はその都度解消していき、前に進めるようにしてほしい。 |
| 座長 | 場所についてはどう思うか。 |
| 委員 | 個人的には登下校を考えると今の育親中学校の場所がいいと思う。畑野小学校が既にバス通学をしているので、ほかの小学校の子どもたちが乗っても同じ登下校の時間で通学することができると思う。一方で、体力面についての心配があるので今の中学生と同じようにバスを降りたら皆で階段を使って学校まで行くのがいいと思う。 |
| 委員 | 今の育親中学校の場所がいいと思う。小学1年生に139段の階段は苦しそうだが、バス通学になったら体力面は心配なのでそれもいいと思う。 |
| 委員 | 既存の校舎を使うならば今の育親中学校の場所がいいと思う。まず初めに義務教育学校にするということで検討していくのか、新しい場所ですのであれば、同じ場所で小学校と中学校を作るのもできるのではないかと。ただし、今後、人口が減っていくし、少子化も進んでいるためできるだけ既存のものを活用したほうが地元も嬉しいし、親としても嬉しい。SDGsの観点からも使えるものは使ったほうがいいと思う。 |

| | |
|-----|---|
| 委員 | 今後進めるうえで、亀岡川東学園のメリットとデメリットが説明できるのであれば、説明しながら前に進めてほしい |
| 事務局 | 子どもたちの成長を数値化したり、義務教育学校で学んだ子どもとそうではない子どもを比べられるわけではないので、効果検証は非常に難しい。特にリーダーシップに課題があるといわれているが、それを克服するために学校は、前期課程も後期課程も工夫している。メリットとしては9年間を見通してどのように子どもを育てるのかを常に教員たちが小中連携をしながら考えている。学びは連続であり、その流れの中で小学校と中学校では文化が大きく変わる。そこをなだらかにするため義務教育学校を作っているという側面もある。ただし、先ほども申し上げたとおり、二つのパターンを比べることはできないので、それぞれメリット、デメリットがあると思う。その中でメリットをどう活かすのかが学校づくりの中では重要だと考えている。 |
| 事務局 | 体力面についてはコロナ禍によって数値としてかなり下がっている。育親中学校は体力づくりの先進校であった。そのような部分も教員同士で運動しながら、カリキュラムを作りながら進めることができるのは、義務教育学校ならではの考え。亀岡市全体で小中一貫教育を推進していることを考えると、育親中学校ブロックでは人数的にも少人数で教育を行うことができるし、お示ししている案ではこども園等との連携も考えられるので、メリットが大きいと思う。 |
| 事務局 | 多くの意見をいただいた中で、義務教育学校にしていくこと、今の育親中学校の場所に新しい義務教育学校をつくることに異論はないと認識しており、それらを考えると義務教育学校を今の育親中学校の場所にいつ建てるのか、を示すのかが次の段階かと思う。義務教育学校を今の育親中学校の場所に建てる前提でいくと、教育委員会も少し大まかな道筋を考える必要があるためお時間を少しいただきたい。これまでの質問の中で、今までの校区変更については1年半の準備期間を設けてきた。今回、進めることになれば、地域や保護者の協力があれば少しでも短くできる可能性はある。今回いただいた意見やこれまでの7回の説明会の意見を踏まえてさらに具体的な案を示して御意見を聞くという形でどうか。 |
| 委員 | 地域に義務教育学校がどのようなものかを発信してほしい。 |
| 事務局 | 義務教育学校の特徴を含めて、いつどこに建てるのかを示していく。また、リーダーシップの課題や校舎の配置の仕方などを工夫することを検討していくのも一つだと思う。通学方法についても場所が決まっていなかったため回答できなかったが、具体的な案を示すことでより詳細な説明ができると思う。 |
| 委員 | プールについては意見はなかったか。施設については具体的なことを説明すべきである。 |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | 新たに学校をつくるなら整備費用はかなりかかる。育親中学校の場所に建てるなら、3小学校の跡地利用も考えないといけない。また、年間8時間の授業のためにプールをつくるのか、スクールバスを利用してどこかの小学校のプールを使うかは考えていく必要がある。 |
| 委員 | 西部地域の全体の中で少数しか説明会に参加していない。今後は参加していない方にどのように周知を行い、説明会に来てもらうかが重要である。 |
| 事務局 | いつ頃に義務教育学校を開校するのが理想と考えているか。 |
| 委員 | 2年ほどかけて段階的に義務教育学校をすればいいと思う。既存の学校でもできることを今からしておいて新しい学校を開校できる準備をしたらいい。 |
| 事務局 | 校舎の改修もしくは建設にかかる時間は短くなるように努力し、補助金も国からいただくようにしないといけないのでその部分の準備期間は必要になる。そのあたりも示せるようにしたい。 |
| 委員 | 義務教育学校のメリット、デメリットについて、既に通っている保護者から話を聞きたい。 親目線では卒業式がないのは寂しいと言っていたが子どもはそうは思っていないとも感じるので、実際に通っている人の声は聴きたい。 |
| 委員 | 次回のブロック協議会にはタイムスケジュールや具体案を示してもらえるのか。 |
| 事務局 | 本日委員のみなさんの御意見を総合すると2年後に今の育親中学校の場所に義務教育学校をつくるというスケジュールを示すということになる。異論がなければ次にスケジュールを示せるようにしたい。 |
| 委員 | 教育委員会側の課題、概算の経費、地域がその間にしなくてはいけないこと、それをいつまでにしてほしいかというのが分かる工程表を示してほしい。 また、人事異動があったりPTA会長が変わったりすると思うが、積み上げてきたものの引継ぎをしっかりと行い、1からのスタートにならないようにしてほしい。 |
| 座長 | 今も発言があったように、建設的に協議を重ねることができるよう引継ぎ等を行い、取組を前に進めていきたいと思うので御協力お願いしたい。 以上で本日の会議を閉じさせていただきます。 |